



わくわく

2018年11月号
第139号

たより



朝夕めっきり寒くなりましたね。我が家でもストーブが活躍し始めました。

最近運動不足で、少し歩くだけで息がハアハアして、疲れやすい体になってしまいました。年のせいにもしたくなく、何か運動を始めようと。

先日「シルクサスペンション」の体験に行ってきました。

シルクサスペンションとは、リハビリから発展した空中エクササイズで、天井から吊り下げられたハンモックを使い、無重力状態でヨガをする感じです。

ヨガやピラティスは以前やっていた、シルクサスペンションに興味があったので、わくわくしながら行ってきたのですが、久々の運動で足や腕の筋肉がピクピク震えたり、途中で足の指がつかなくなって大変(笑)

そして二日目に筋肉痛になり、やはり年には勝てないと思ってしまった体験でした。

シルクサスペンションの効果は、何といっても体幹のインナーマッスルが鍛えられる事です。そして血流やリンパの流れもかなり代謝があがります。

ダイエットにも期待して無理せず楽しめながら続けていきたいと思っています。

師走に向けて、お忙しい時期を迎えられることと思いますが、風邪など引かないようにお気を付けください。(売買:大友 幸子)



ひとくちメモ

秋の夜長に読書を

11月に入り、日が落ちるのが早くなりました。秋の深まりを感じます。長い夜の季節ですね。先月の皇后さまの誕生日の会見で、「公務を離れたら、これまで読みたいと思って求めたまま手つかずになっていた本を読むのではないかと楽しみにしています。ジーヴスも2、3冊待機しています」と話されていました。ジーヴスは執事が活躍する探偵小説です。楽しい本を読みふけるにはいい季節ですね。



3年連続
県内売上高

No.1

株式会社
いわき土地建物
ご相談下さい フリーコールで No.1の不動産屋へ みんな行く
0800-123-3719
Free Call

ひとくちメモ

住宅用火災警報器の設置率

福島県は74.6%と全国81.6%を下回りました



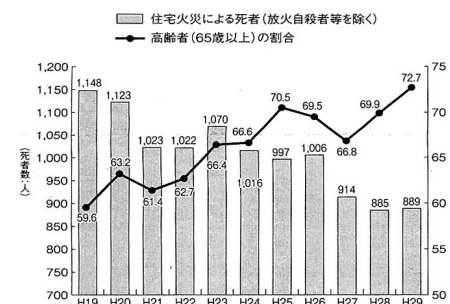
総務省消防庁が発表した「住宅用火災警報器の設置率等の調査結果(標本調査)」(平成30年6月1日時点)によると、全国の世帯の「設置率」(1か所以上)は81.6%となっていることがわかりました。福島県は、74.6%と全国を下回り、47都道府県中43位となっています。

「住宅用火災警報器」は、火災の際に煙や熱を感知して音声やブザー音で警報する機器(住警器とも略されています)で、平成16年に消防法が改正され、戸建を含むすべての一般家庭の住宅にその設置が義務付けられました。

新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は市町村条例により平成20年6月から遅くとも23年5月末までに設置が定められています。今年は、新築住宅の設置義務付けが始まってから10年目となります。

失火を原因とした住宅火災(平成26~28年)で住警器を設置している場合は設置していない場合に比べ、死者の発生は約4割減、焼損床面積・損害額は半減するという結果が出ています。

住宅火災による死者数と高齢者の割合



【「放夢新聞」(ミサワホーム(株)様発行)より資料掲載】

住警器は火災を感知するために常に作動し、その電池の寿命の目安は約10年とされ、初期に設置した多くの機器が電池切れや部品劣化を迎えるため、点検が必要となります。

また、高齢化の進行とともに、住宅火災による死者のうち高齢者が占める割合が増加(平成29年に73%)していることから、消防庁では、広く、住宅防火・防災意識の啓発をしています。

「いざ」というときに適切に作動するためにあらかじめ、ご家庭の住警器の点検をしてみましょう。

資金計画 自己資金 住宅ローン 税金 建物状況調査 引越

これを読めば、不動産取引の基本的な流れが良くわかる!



『住まい探しのお悩み解決BOOK』

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引の様々な事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。この冊子をご希望の方は小島北店までご連絡ください。

無料進呈中



フリーコールで

No.1の不動産屋へ

みんな行く

0800-123-3719
Free Call